



2021年6月10日

各位

### 川崎高津水素ステーションの開所について

当社（社長：大田 勝幸）は、本日、「川崎高津水素ステーション（神奈川県川崎市高津区）」を開所しましたので、お知らせいたします。本ステーションは、次世代自動車振興センター「燃料電池自動車用水素供給設備設置補助事業」の採択を受けており、当社46カ所目、首都圏で31カ所目の商用水素ステーションとなります。

2040年に自社排出分のカーボンニュートラルを目指す当社は、本ステーションが位置する川崎市が2020年に策定した脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」に賛同しております。川崎市の中でも高津区は脱炭素モデル地区に指定されており、本ステーションが川崎市の取組みを促進するものになると考えております。

当社グループは長期ビジョンにおいて2040年のありたい姿として低炭素・循環型社会への貢献を掲げており、水素事業はその実現に資するものとして取組みを加速しております。

当社は、今後とも水素製造ならびに自動車用燃料供給に関わるインフラやノウハウの活用により、水素の「製造」「輸送」「販売」の効率的なビジネスモデルを構築することを目指します。さらに、持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）の目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、目標9「産業と技術革新の基礎をつくろう」および目標13「気候変動に具体的な対策を」の達成に貢献してまいります。

\* 東京2020大会の大会用車両に対する当社の水素供給体制については3枚目の別紙をご参照ください。

以上

## とどけ! 熱いエネルギー ENEOS

## (参考) 川崎高津水素ステーションについて

### <ステーション概要>

開所日	2021年6月10日
所在地	神奈川県川崎市高津区下作延三丁目6番6
運営者	株式会社ENEOS水素サプライ&サービス
敷地面積	787.87m <sup>2</sup> (238.33坪)
供給方式	都市ガス改質型オンサイト方式 (水素製造装置をステーション内に設置) 水素製造能力: 300Nm <sup>3</sup> /h

### <ステーション外観>



とどけ! 熱いエネルギー **ENEOS**

## (別紙) 東京 2020 大会の大会用車両に対する当社の水素供給体制について

### <大会用車両に水素を供給する当社水素ステーション（7カ所）>

ステーション名称	所在地
① Dr. Drive セルフ潮見公園店 (福島県内で製造した水素の販売拠点)	東京都江東区
② 東京目黒水素ステーション	東京都品川区
③ 千葉幕張水素ステーション	千葉県千葉市美浜区
④ 東京大井水素ステーション	東京都品川区
⑤ 東京高輪ゲートウェイ水素ステーション	東京都港区
⑥ 東京晴海水素ステーション	東京都中央区
⑦ 川崎高津水素ステーション	神奈川県川崎市高津区

※大会専用車両の運行ルート等によっては、上記以外の当社水素ステーションでも供給いたします。

※川崎高津水素ST開所に伴い、大会用車両に水素供給を予定していた横浜綱島水素STに代わり、川崎高津水素STが大会用車両に水素供給をすることとなりました。

当社は東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「東京 2020 大会」）において、大会用車両として投入される約500台の燃料電池自動車に、東京 2020 オフィシャル水素「ENEOS水素」を供給することになっており、本ステーションを含め7カ所の当社水素ステーションが大会用車両に水素を供給いたします。

### <大会用車両に供給する水素について>

当社が大会用車両に供給する水素の一部には、復興の地・福島県の「福島水素エネルギー研究フィールド」(福島県浪江町)において製造される再生可能エネルギー由来の水素を利用することで、東京 2020 大会を盛り上げていきます。



# とどけ! 熱いエネルギー ENEOS